

# 令和5年度 第7回牧区地域協議会 次第

日時：令和5年11月21日（火）

午後6時から

会場：牧区総合事務所301会議室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 報告事項

(1) 令和4年度牧湯の里深山荘における市及び指定管理者の収支状況等について

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料No.1

(2) 川上笑学館の今後の管理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料No.2

## 4 自主的審議事項

(1) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

## 5 その他（連絡事項）

- ・令和5年度第2回牧区町内会長連絡会議の開催について
- ・令和6年上越市新年祝賀会の開催について
- ・各区の「地域活性化の方向性」について（保倉区、吉川区）
- ・「地域教育往来（第59号）」の配布について
- ・「牧区地域協議会だより（第59号）」12月25日号発行について

## 6 閉 会

・次回（第8回牧区地域協議会） 月 日（ ） 時 分～

## 令和4年度牧湯の里深山荘における市及び指定管理者の収支状況等について

## 1 施設の概要

所在地	牧区宇津俣 285 番地	設置	昭和 61 年度
構造	鉄筋コンクリート造	面積	延床 2,929 m <sup>2</sup>
指定管理者	株式会社太平堂		

## 2 利用状況

(単位：人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	7,166	8,071	11,111
うち宿泊	460	760	1,138
うち日帰り温浴	3,713	4,088	4,489
うち食堂	1,871	1,979	2,302

## 3 市の収支状況

(単位：千円 (④を除く))

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
①収入	-	-	946※4	
②支出	修繕料	2,840	3,094	2,765
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	15,882	16,229	20,981
	再算定による 増加額※1	-	-	-
	その他委託料	746	649	-
	工事請負費	4,477	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	1,579
	その他	547	1,131	469
合計	24,492	21,103	25,794	
③公費投入額 (②-①)	24,492	21,103	24,848	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)	3,418	2,615	2,236	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの

※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したものの

※4 指定管理料の精算返還分

## 令和4年度牧湯の里深山荘における市及び指定管理者の収支状況等について

### 4 指定管理者の収支状況

(単位：千円)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
①収入	利用料金収入	15,062	19,540	24,962
	牧湯の里深山荘管理 運営委託料	15,882	16,229	20,981
	再算定による 増加額※1	-	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	1,579
	その他	4,173	5,343	2,220
②支出		37,017	40,976	48,525
差引 (①-②)		△1,900	136	1,217

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの

※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

### 5 令和4年度の主な取組等について

- ・ 雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症による損失を抑制するため、令和4年12月26日から令和5年1月10日まで日帰り温浴、食堂の営業時間短縮、令和5年1月10日から3月10日まで平日休館とするなど、損失額の縮減に努めた。
- ・ 地元農業団体から山菜や野菜等を安く仕入れ、地産地消を推進するとともに、その他の食材等については、市場から直接仕入れ、卸売業者の中間コストの削減に努めた。
- ・

## 川上笑学館の今後の管理について

## 1 今後の管理方針について

## (1) 管理方針と判断理由等

- 川上笑学館を含む交流宿泊施設は、地域間の交流を促進し、地域の活力の向上を図るため、地域住民・団体等が管理している施設であり、関係人口の創出のために重要な役割を担ってきた。
- 一方で、指定管理を受託している川上地区協議会から、構成員の高齢化による人材不足のため、これまでの間、人材確保に向けて取り組んできたが体制が整わないことから、施設の管理運営の継続が困難であるとの申し出があった。
- 川上地区協議会からの申し出を踏まえ、市として改めて施設の必要性について、また指定管理及び市直営での施設運営・事業継続を検討したところ、体験交流や宿泊については、市内の他の施設で代替でき、稲刈りや田植え等の体験はフィールドがあれば可能であると判断している。
- 以上のことから、川上笑学館は交流宿泊施設として指定管理の更新は行わず、令和6年3月31日をもって施設を休止する。

## (2) 施設休止後の対応

- 市は地域とともに地域内での利活用策を検討するほか、民間活用の可能性を調査するなど、休止後の施設の新たな活用策を探っていく。
- 施設の方向性が決まるまでの間は、維持管理に係る予算として、除草や除雪等の経費を計上する。
- 指定緊急避難場所兼指定避難所となっていることから、施設休止後の対応について、引き続き地域と協議を進める。

## 2 施設の概要

- 所在地：牧区切光 1438 番地
- 設置年月：平成7年11月
- 設置目的：都市部の住民と農村部の住民との交流を促進するとともに、地域の特性及び資源をいかした体験学習の場を提供することにより、地域の活性化を図るため、体験学習受入施設を設置する。
- 構造等：木造2階建 延床面積：351.12㎡
- 補助事業名：山村振興等農林漁業特別対策事業
- 事業費：101,725千円（うち国48,389千円、県9,677千円）
- 施設運営：指定管理（指定管理者：川上地区協議会）
- 避難所指定：指定緊急避難場所兼指定避難所

## 3 施設の利用人数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	1,518人	1,092人	463人	554人	804人
日帰り利用	1,167人	812人	289人	361人	500人
宿泊利用	351人	280人	174人	193人	304人

## 4 施設管理における市の収支状況（千円）

区分	H30	R1	R2	R3	R4	R5(予算)
①収入	-	-	-	-	-	-
②支出	指定管理委託料	4,501	4,596	4,292	4,292	4,292
	コロナ・エネルギー補填金	-	-	361	-	60
	その他	305	1,361	728	802	661
	計	4,806	5,957	5,381	5,094	5,013
公費投入額（②－①）	4,806	5,957	5,381	5,094	5,013	4,592
利用者1人当たりの公費投入額	3	5	12	9	6	-

## 5 地域との協議経過等

時期	協議内容等
令和4年12月	川上地区協議会役員との意見交換 ・川上笑学館の管理人が令和6年3月末（現在の指定管理期間満了）をもって、管理人を辞退したいとの意向があり、協議会役員との意見交換を実施。
令和5年4月	川上地区協議会役員、川上地区町内会長との意見交換 ・地区関係者へ川上笑学館の設置目的や現状等について説明し、意見交換を実施。 ・施設の存続について、様々な意見があることを確認した。 ・施設の存続に向けて協議を継続することとした。
7月～9月	川上地区協議会等との施設の存続に向けた協議 ・川上笑学館の運営について、運営方法や地元との連携など様々な角度から協議を進めたが、管理人の確保には至らなかった。
10月12日	川上地区協議会からの申し出 ・川上地区内に指定管理を引き継ぐ者はおらず、川上地区外から新たな人材を探すことも困難である。今後の施設の利活用方法について、川上地区協議会も関わりながら市と一緒に検討していきたいとの申し出があった。
10月25日	川上地区協議会に申し出内容について聞き取り ・川上地区協議会としては、施設運営を継続することが困難なため、施設休止もやむを得ないとの回答を得る。

## 【参考】施設画像



「牧区地域協議会活動報告会」、「令和2年度地域活動支援事業事前説明会」  
「地域協議会委員公募説明会」 次第

日 時 令和2年2月29日(土)  
午前10時～  
会 場 牧コミュニティプラザ2階 集会室

1. 開 会

2. 牧区地域協議会活動報告会

(1)あいさつ

牧区地域協議会 会長 丸山 進

(2)活動報告

①「地域協議会活動報告」及び「地域活動支援事業実績報告」・資料 No.1～No.2

牧区地域協議会 副会長 西山 新平

②地域活動支援事業事例発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 No.3～No.4

・ N P O 法人牧振興会

事務局長 西條 一明 様

・ 牧剣友会

事務局 佐々木 亮一 様

(3)質 疑

3. 令和2年度地域活動支援事業事前説明会

(1)令和2年度地域活動支援事業の概要(案)について・・・・・・・・・・資料 No.5

(2)地域活動支援事業に関するQ&A(案)について・・・・・・・・・・資料 No.6

(3)上越市地域活動支援事業提案書(案)について・・・・・・・・・・資料 No.7

(4)質 疑

4. 地域協議会委員公募説明会

(1)あいさつ

牧区総合事務所 所長 山岸 由美子

(2)地域協議会委員の公募について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 No.8～No.9

(3)質 疑

5. 閉会

## 子育て移住について

- ・牧を知ってもらい、移住するには何をどのように対応すべきなのか。

	空き家	体験	実施主体となるところ
前回（1班・2班） の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家に住んでもらい、Uターン、Iターンを促す。</li> <li>・空き家の情報を発信する。</li> <li>・すぐに住める空き家もあれば雨漏り等ですぐに住めない状態の空き家もある。</li> <li>・空き家は個人の財産であることから、一歩踏み込んだ情報発信は難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の話と切り離し、宿泊ではなく日帰りツアーを行う。</li> <li>・四季を通じての農業体験を行う。</li> <li>・農業体験は子どもだけでなく、親子一緒に参加してもらおう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牧振興会に窓口となっていたきたいが、職員の人数が少なく、牧振興会だけに任せることは難しい。</li> <li>・牧振興会に提案を持ちかけるにしても、予算や人的な問題もあることから、すぐに依頼することはよくない。牧振興会だけでなく、様々な方と話し合いの場を持ちながら牧区の今後を考えるなど、すぐに結論を出すのではなく時間をかけて話し合いを行うことが大切である。</li> </ul>
具体的な 取組	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>市で実施している空き家バンク等の情報を収集していく。 (総合事務所が行う)</p> </div>		

## 子育て移住

### 【目標】

- ・豊かな自然と暮らしの体験を通じて、牧区を広く知ってもらい、地域の人と触れ合う機会を創出し、空き家を活用した移住促進を図る。

- ① 利用できる空き家の情報収集 (総合事務所)  
(町内会長を通じて聞き取り等)

・市で実施している空き家バンク等の情報収集、研究  
(総合事務所) R5年5月～

- ② 空き家の情報発信 (牧振興会) ★
- ③ 体験メニューの検討 (総合事務所)
- ④ 体験受入体制の検討 (総合事務所・牧振興会)
- ⑤ 区内巡回体験ツアープログラム計画  
区内施設の有効活用  
(総合事務所・牧振興会・地域団体)
- ⑥ 体験ツアー参加者の宿泊先検討 ★  
(深山荘・川上笑学館・ほほえみ荘・どぶろく荘)
- ⑦ 区内巡回体験ツアー用車両の購入 ★  
(牧振興会)
- ⑧ 地域イベントの情報発信 (牧振興会) ★

・イベント実施できる団体の模索(総合事務所)  
R5年5月～

## 農業・林業

### 【目標】

- ・牧区の農地を守るため、中心となる担い手を確保する。
- ・牧区の特産品、メープルシロップの商品化を目指す。

#### <農業>

- ① 担い手(個人経営農家)による検討会の開催  
(総合事務所・担い手(個人経営農家))
- ② 新たな組織体制づくりに向けた学習会及び講演会を実施  
(総合事務所・公社・JA・担い手) ★
- ③ 区内の組織体制の検討  
(総合事務所・公社・JA・担い手)

・若手農業者で組織されているJA青年部等と牧区の農業振興について意見交換会を実施する。  
(総合事務所) R5年12月3日(日)実施予定

#### <メープルシロップ>

- ① イタヤ(梨本氏)から事業内容について説明 (済)  
(総合事務所・イタヤ)

・イタヤ(梨本氏)から事業内容について説明を聞く。(地域協議会) R5年5月実施

- ② 商品化及び雇用の場としての検討 ★  
(総合事務所・イタヤ)
- ③ イタヤカエデの植栽 ★  
(総合事務所・イタヤ)
- ④ 根曲がり杉活用事業 ★  
(総合事務所・イタヤ)

## 外出支援

### 【目標】

- ・高齢者等が地域で安心して暮らせるための外出支援を強化する。

- ① コミュニティバス活用の周知 (総合事務所) (済)

・令和4年10月から実証運行実施、令和5年4月から本運行開始。引き続き乗車方法等の周知を強化する。(総合事務所) R5年4月～

- ② 買い物支援事業拡大の検討 (牧振興会) ★ (済)

・牧振興会で、冬期間限定(1月～3月)毎週月・木に買い物支援事業を実施していることから、回数増の依頼を含め、牧振興会と協議を実施する。(総合事務所) R5年4月

- ③ JA店舗の存続に向けて協議 (総合事務所) (済)  
(地場産販売スペース設置等)

・総合事務所がJA店舗関係者と状況把握を行う。  
(総合事務所) R5年5月